

平成 29 年 7 月 27 日

「爆心地から生きる」

原医研と鎌田七男名誉教授の資料を特別展示します
(8 月 4 日～10 月 19 日、医学部医学資料館)

広島大学原爆放射線医科学研究所(原医研)が「爆心復元調査」に着手して、間もなく半世紀を迎えます。

原医研所長を務められた鎌田七男名誉教授は、この調査が基になった「近距離被爆生存者に関する総合医学的研究」を通じて、500m 以内の被爆生存者 78 人の健康調査に長年取り組んでこられました。ご退官後も現在に至るまで、被爆者の方々に寄り添い見守り続けておられます。

2017 年 3 月に原医研が鎌田先生から関係資料を受領したのを機に、「爆心復元調査」など原医研の所蔵する資料と合わせて一部を展示します。原爆の非人道性を物語る第一級の資料であり、ご本人、ご家族の承諾を得て初めて公開するものです。

8 月 3 日午後 2 時から広仁会館で行うオープニングセレモニーには、鎌田名誉教授にご出席いただき、資料受領式と講演会を行います。なお、セレモニーに続いて医学資料館で展示内覧会も行います。

【お問い合わせ先】

原爆放射線医科学研究所
附属被ばく資料調査解析部 久保田明子
TEL : 082-257-5936 FAX : 082-257-5878

A.資料展示

[日時] 2017年8月4日(金)～2017年10月19日(木):約3か月展示

[場所] 広島大学医学部医学資料館 2階 会議室

[主催] 広島大学原爆放射線医科学研究所

[共催] 放射線災害・医科学研究拠点(広島大学・長崎大学・福島県立医科大学)

[展示開催主旨]

2017年3月に原医研が受領した鎌田七男名誉教授の資料を中心に、「奇跡の78人」と言われた近距離被爆者(爆心地500m以内の被爆者)について、原医研が1960年代後半に開始した「爆心復元調査」、そこから展開した「近距離被爆生存者に関する総合医学的研究」、そしてその被爆者たちを原医研所属時代から現在まで継続して見守ってこられた鎌田先生の足跡を紹介する。この展示を通して、原爆被災後の被爆者の皆様に対して取り組んだ広島大学と原爆放射線医科学研究所の調査研究と鎌田七男先生のご尽力の一端を皆様にご覧いただき、原爆を振り返るとともに現在の福島の問題を考えるきっかけとなれば幸いである。

[展示概要]

(a) 文書資料展示 ガラスケース内資料配置およびパネル展示

(1) “原医研のプロジェクト” [原医研所蔵志水清資料、湯崎稔資料など]

(2) “近距離被爆者” [鎌田七男資料など]

(3) “生き抜く、見守り続ける”(鎌田先生の継続的な尽力の紹介) [鎌田七男資料など]

(b) 映像放映 関連映像

(c) 体験型展示 「顕微鏡をのぞいて染色体を見る」～研究の世界の入口～

※夏季限定(8/7、9、21、23、28の5日間、14:00～16:00)

B.オープニングセレモニー(資料受領式)

[日時] 2017年8月3日(木) 14:00～15:00

[場所] 広島大学 広仁会館 中会議室

[スケジュール]

13:30 受付開始

14:00 資料受領式～受領証明書贈呈

14:15 鎌田七男先生のお話

15:00 医学資料館に移動し、展示の内覧(～16:00)

C. 講演会

[日時] 2017年9月2日(土) 14:00～16:00

[場所] 広島市平和記念資料館会議室

[主催] 広島大学原爆放射線医科学研究所

[演題] 原爆の非人道性の証(仮題)

[講師] 鎌田七男名誉教授

爆心地から 生きる

— 近距離被爆者の医療をたどって —

(原爆放射線医科学研究所所蔵資料および
鎌田七男資料より)

* 入場無料 *

2017年 8/4(金) ~ 10/19(木)

広島大学医学部医学資料館

10:00~16:00 (日曜日・祝日・夏季休暇日閉館)
広島大学霞キャンパス (大学病院前)

主催 広島大学原爆放射線医科学研究所

共催 放射線災害・医科学研究拠点 (広島大学・長崎大学・福島県立医科大学)

企画・製作 広島大学原爆放射線医科学研究所附属被ばく資料調査解析部

* 展示問い合わせ TEL: 082-257-5877 附属被ばく資料調査解析部